

# AIRLÉ

## 調光タテ型ブラインド エアレ

### ボタン操作 ボタン・コード操作 コード操作

#### 取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

#### 販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになった場合は、  
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になるお客様へお渡ししてください。



**警告**

コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



日本アイエス

# INDEX 目次

## ご使用の前に

---

安全上のご注意 .....	1
使用環境上のご注意 .....	3
各部の名称 .....	4
付属品 .....	5
納まり寸法の目安 .....	6

## 取付けかた

---

製品の取付けかた .....	7
製品の取外しかた .....	14

## 使いかた

---

操作のしかた .....	16
--------------	----

## お手入れ

---

生地について .....	22
お手入れのしかた .....	23
生地の洗濯のしかた .....	23

## こんなときは

---

トラブルシューティング .....	24
メンテナンスシールのみかた .....	25
保証とアフターサービス	

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し、説明しています。



してはいけない禁止の行為です。



必ず実行していただく強制の行為です。

## ご使用になる前にお読みください



**警告**



お子様やペットを製品に近づけないでください。ドライブコードが引っかかる、首や体に巻き付くなどして思わぬ事故をまねく恐れがあります。



操作時以外は、ドライブコードをコードウェイトでお子様の手の届かない位置に確実に束ねてください。お子様の手の届く位置でドライブコードを束ねると、思わぬ事故をまねく恐れがあります。コードウェイトはドライブコードから外さないで使用してください。

- ・コードウェイトについて

ドライブコードを危険のないよう束ねる部品です。

小さなお子様がいる場合など、手の届かない高さにドライブコードを束ねられます。(コード操作およびボタン・コード操作の製品に対応します。P21参照)



小さなお子様がいるご家庭では、製品の近くにソファやベッドを置かないでください。ドライブコードに手が届き、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



製品にぶら下がったり無理に引っ張ったり、急激な操作をしないでください。また、製品にものを吊り下げたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下して思わぬ事故をまねく恐れがあります。









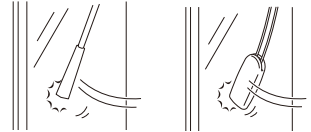
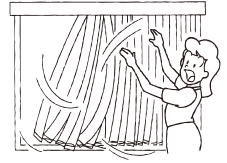
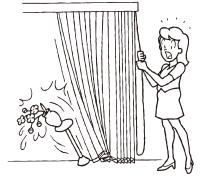
火のそばで使用しないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



ご使用になる前にお読みください

 **注意**

-  操作は必ず、ボタン(チルトポール)・ドライブコードで行ってください。直接生地を手で引っ張ると故障の原因となる恐れがあります。
-  ドライブコードはまっすぐ下に引いて操作してください。左右斜め方向に引くと、製品破損や故障の原因となる恐れがあります。
-  製品の動く範囲内に人や、動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する恐れがあります。
-  窓を開ける時は、できるだけ生地をたたみ込んでください。特に風の強い時は必ずたたみ込んでください。製品の破損や思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  バトン(チルトポール)やコードウェイトは窓ガラスに当たらないように扱ってください。窓ガラスに当たると、ガラスの破損や思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  製品の分解や改造をしないでください。製品の破損や故障の原因となります。



## お取り付けになる前にお読みください

### 警告



付属の取付けねじは木部用です。木部以外には使用しないでください。



木部以外へ取付ける場合は、下地の種類や構造・強度に応じて適正な専用のねじ・アンカー等をご使用ください。



製品重量に耐えられる下地に取付けてください。  
製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



ハンガーレールを直付ける際は、取付け面に確実に固定されていないと、製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



取付けブラケットで取付ける際、取付け面に指定のねじ本数で全ての取付けブラケットを確実に固定してください。確実に固定されていないと、製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



電動工具を使用する場合、下地やねじ、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。過度なねじの締め付けによって下地やねじが破損し、製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

## 使用環境上のご注意 (必ずお守りください)

### 注意



この製品は屋内用です。屋外では使用できません。  
屋内であっても、特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、粉塵等）では使用できません。



浴室や風雨にさらされる場所、ぬれたり水のかかる場所、湿気の多い場所、結露の発生が予想される場所ではご使用できません。故障・変形などの恐れがあります。



水気のかかる場所、結露に触れるような場所では使用しないでください。  
生地にシミなどが発生する場合があります。

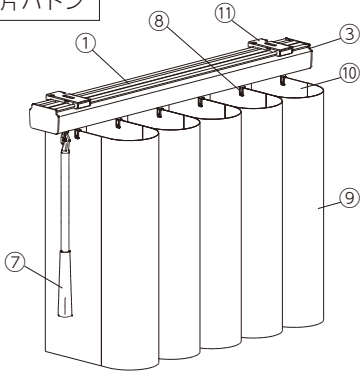


窓を開けて直射日光を製品に長時間当てないでください。  
生地などの部品が極端に退色・変色したり、劣化が促進する場合があります。

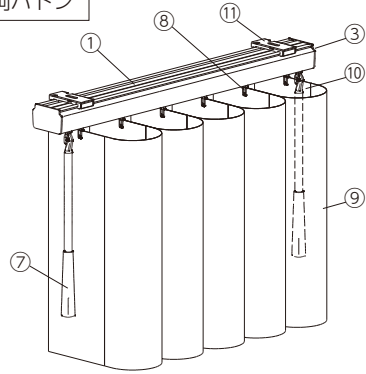
# 各部の名称

## ■ボタン操作

片ボタン

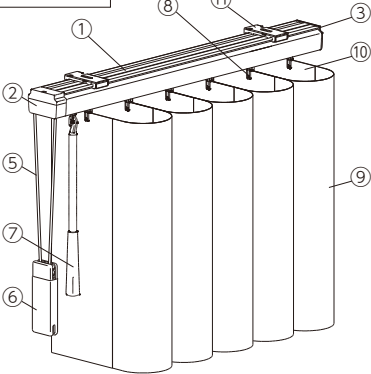


両ボタン

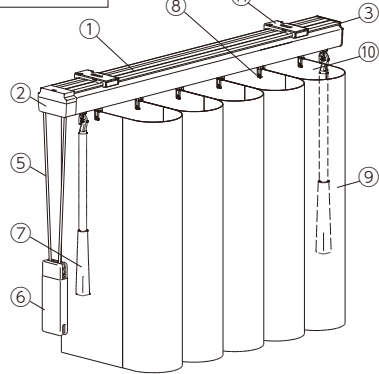


## ■ボタン・コード操作

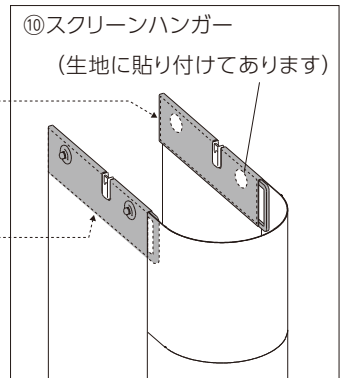
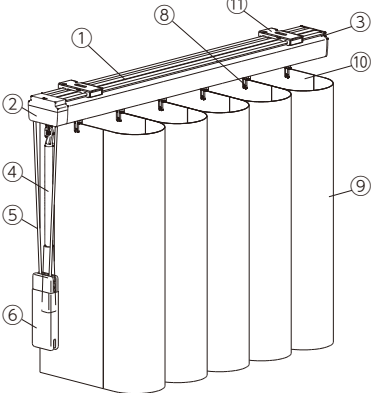
片ボタン



両ボタン



## ■コード操作



## 各部の名称

- ①ハンガーレール
- ②操作部
- ③エンド部
- ④チルトポール
- ⑤ドライブコード
- ⑥コードウェイト
- ⑦ボタン
- ⑧ランナー
- ⑨生地
- ⑩スクリーンハンガー
- ⑪取付けブラケット

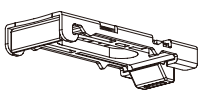
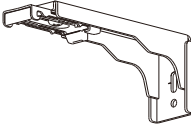


SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

SIAA取得内容

抗菌部品	ボタン (グリップ部)	チルトポール (グリップ部)	コードウェイト (カバー部)
抗菌剤種類	無機抗菌剤		
加工方法	練込		
登録番号	JP0122984X0021K		
ボタン操作	●	—	—
ボタン・コード操作	●	—	●
コード操作	—	●	●

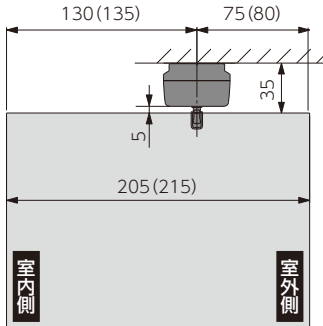
## 付属品 (施工する前にまず付属品をご確認ください)

部品名 製品幅 (mm)	取付けブラケット		取付けねじ (木部用)  なべねじ φ3.5×16
	天井付け	正面付け	
~1000			4本
1005~2000	2 個	3 個	6本
2005~3000	3 個	4 個	8本
3005~4000	4 個	5 個	10本

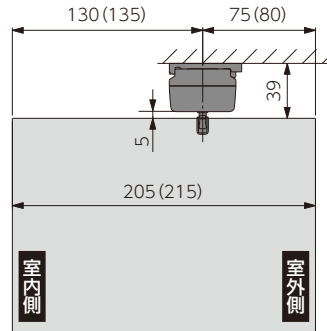
- ・天井付け (直付け) の場合は、取付けブラケットは付属されません。ハンガーレールの穴数分の取付けねじが付属されます。
- ・ボタン操作・ボタン・コード操作の場合、ボタンは片ボタン: 1本、両ボタン: 2本が付属されます。
- ・コード操作の場合、チルトポールは1本付属されます。

※寸法は計算値のため、実際の寸法とは多少異なる場合があります。目安としてご使用ください。

《天井付け(直付け)》

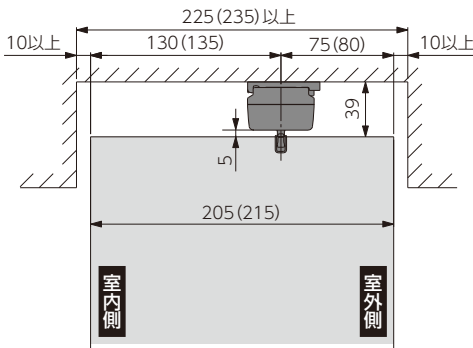


《天井付け(ブラケット付け)》

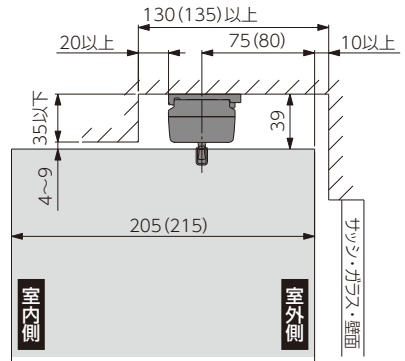


《天井付け(カーテンボックス内への取付け)》

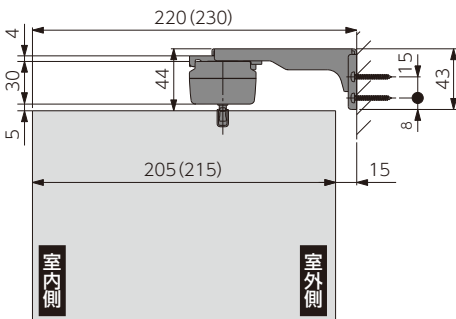
・製品全体を  
カーテンボックス内に納める場合



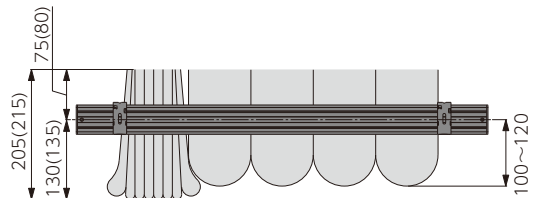
・ハンガーレールのみ  
カーテンボックス内に取付ける場合



《正面付け(ブラケット付け)》



《見下げ図》



※( )内は遮光生地「マージ」を使用した場合の寸法



## 製品の取付けかた

### ■必要な工具の確認

プラスドライバー・巻尺(スケール)

#### 1) 製品の確認

##### ⚠ 注意

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。  
異常または不足がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

#### 2) 取付け下地の確認

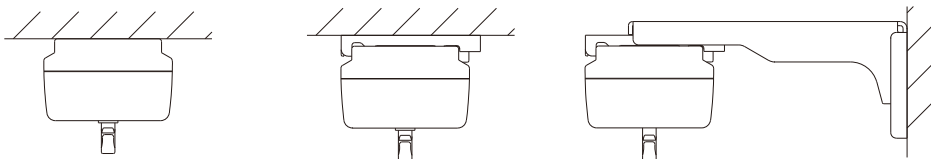
##### ⚠ 注意

- ・製品に付属している取付けねじは木部用です。木部以外の下地には使用できません。
- ・木部以外の下地に取付けるときは、その下地の強度や材質に応じたねじ、アンカー等をご使用ください。
- ・石こうボード等で木部下地に直接取付けねじを打てない場合は、木部下地に15mm以上ねじがかかるように別途長いねじをご使用ください。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

#### 3) ハンガーレールの取付け

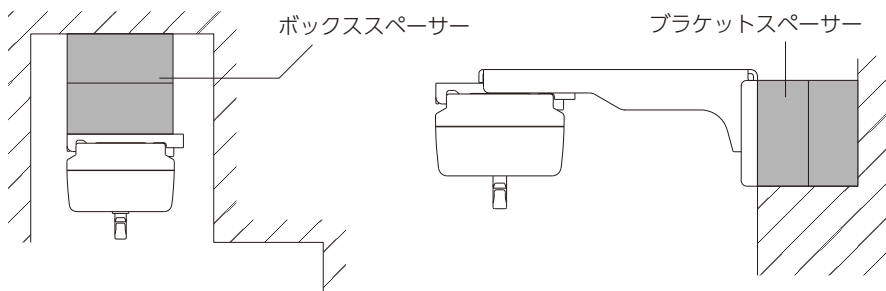
ハンガーレールの取付けかたは、以下の3つの種類があります。

《天井付け(直付け)》 《天井付け(ブラケット付け)》 《正面付け(ブラケット付け)》



#### □オプションのスペーサーを使用した場合

詳細は各オプション部品に付属の取付説明書をご覧ください。



## □オプション コーナー取付仕様での取付けの場合

こちらの項目は、オプションのコーナー取付け仕様をご注文した場合にお読みください。

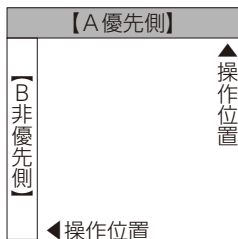
### ■納まり図

#### 【A優先側】

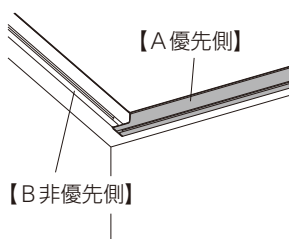
…ハンガーレールを伸ばして  
製作した側

#### 【B非優先側】

《見下げ図》



《見上げ図》



### ■「コーナー取付仕様」の取付け時注意点

#### 1) ハンガーレールを取付ける順番について

##### ●天井付け(直付け)の場合

天井付け(直付け)の場合はどちらのハンガーレールから取付けても問題ありません。

##### ●天井付け(ブラケット付け)の場合

##### ●正面付け(ブラケット付け)の場合

#### ①必ず【A優先側】のハンガーレールから取付けてください。

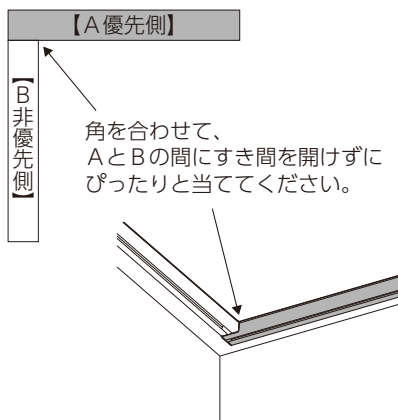
【B非優先側】のハンガーレールを先に取付けると【A優先側】のハンガーレールが取付けできません。

#### ②次に【B非優先側】のハンガーレールを取付けてください。

#### 2) ハンガーレールの取付け位置について

・角を合わせて取付けてください。

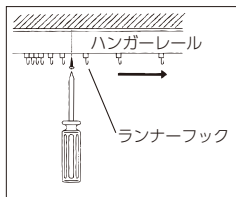
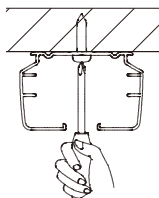
・【B非優先側】のハンガーレールを取付ける際は、【A優先側】のハンガーレールとすき間が開かないように取付けてください。



## 製品の取付けた

### ●天井付け(直付け)の場合

- ①ハンガーレールを取付け面に当て、前後・左右の位置を調整し、取付け位置を決めます。
- ②取付けねじを、あらかじめハンガーレールにあいているねじ止め用の穴に通し、ドライバーで取付けてください。



製品幅(mm)	ねじ穴個数
～1000	2個
1005～1900	3個
1905～2800	4個
2805～3700	5個
3705～4000	6個

※ねじ穴がランナーフックの位置と重なっている場合はランナーフックを移動させてからねじ止めしてください。

- ③ハンガーレールが確実に固定されていることを確認してください。

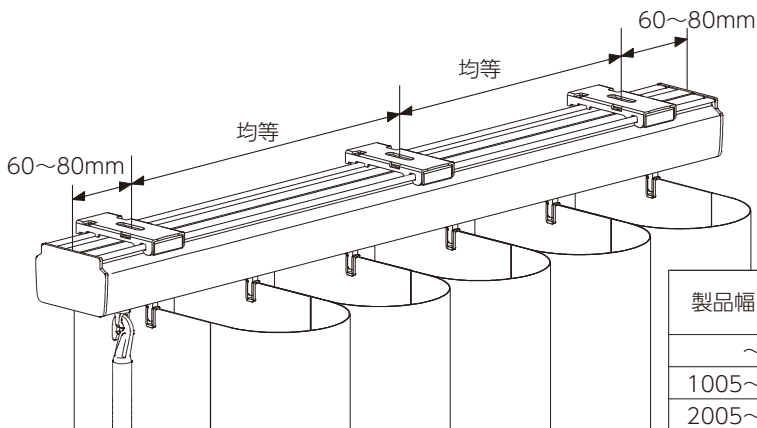
### ⚠注意

天井付け(直付け)する際は、ハンガーレールのすべてのねじ穴を取付けねじで確実に固定してください。確実に固定されていないと、製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

### ●天井付け(ブラケット付け)の場合

### ●正面付け(ブラケット付け)の場合

- ①取付けブラケットの取付け位置を決めてください。



製品幅(mm)	取付けブラケット個数
～1000	2個
1005～2000	3個
2005～3000	4個
3005～4000	5個

\* 図は天井付け

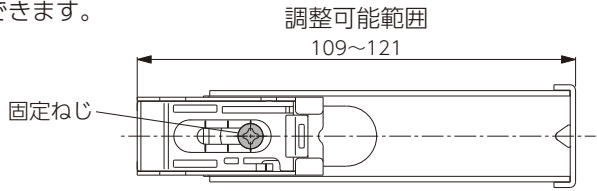
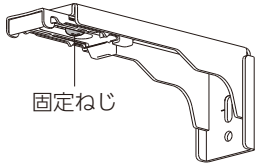
- ・取付けブラケットの位置は、製品端部より60～80mm離れた位置にくるようにしてください。
- ・取付けブラケットが3個以上の場合、ブラケット間隔が均等になるように両端の取付けブラケットの位置を基準に、残りの取付けブラケットの位置を決めてください。

## 製品の取付けかた

### □正面付けブラケットの位置調整をする場合

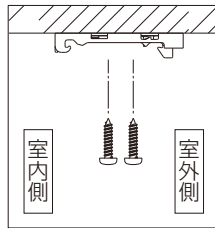
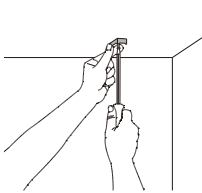
[単位：mm]

固定ねじを緩めて位置調整ができます。



②取付けブラケットを付属のねじで固定してください。

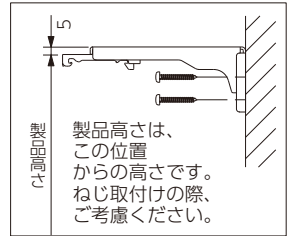
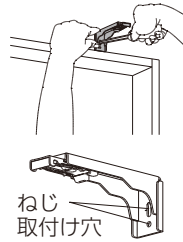
《天井付け(ブラケット付け)》



必ず2本のねじで固定

- ・天井付けの場合は、取付けブラケットは取付け面に一直線になるように取付けてください。

《正面付け(ブラケット付け)》



必ず2本のねじで固定

- ・正面付けの場合は、取付けブラケットの上面が水平になるように、ブラケットの高さがそろるように取付けてください。

## ⚠警告

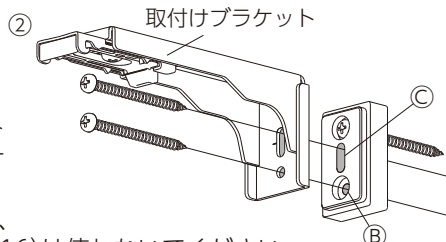
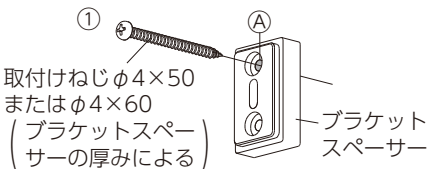
ブラケットスペーサー・ボックススペーサーの取付けは必ず下地へ20mm以上固定できるねじをご使用ください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

### □オプションのブラケットスペーサーを使用する場合

こちらの項目は、オプションのブラケットスペーサーをご注文した場合にお読みください。

取付けかた

- ①ねじ穴Ⓐを使ってブラケットスペーサーを取付けねじで固定します。
- ②取付けブラケットをブラケットスペーサーのねじ穴Ⓑ、Ⓒに合わせ取付けねじで固定します。

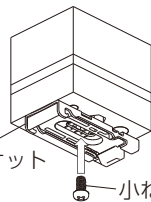
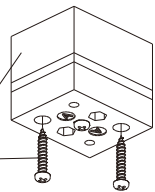


- ※ブラケットスペーサーを使用する場合、製品本体に付属する取付ねじ(φ3.5×16)は使わないでください。
- ※別紙「ブラケットスペーサー取付説明書」もご覧ください。

## □オプションのボックススペーサーを使用する場合

オプションのボックススペーサーをご注文した場合は、別紙「ボックススペーサー取付説明書」をご覧ください。

ボックススペーサー  
取付けねじφ3.5×25



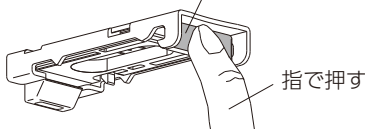
取付けブラケット

小ねじ  
φ4×8

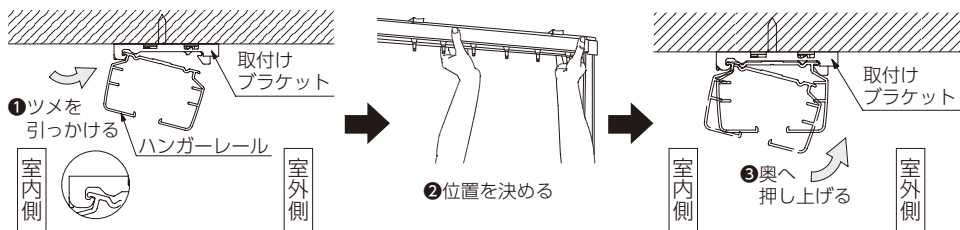
※ボックススペーサーを使用する場合、製品本体に付属する取付けねじ(φ3.5×16)は使わないでください。

### ③ハンガーレールを取付けます。

スライドブロック

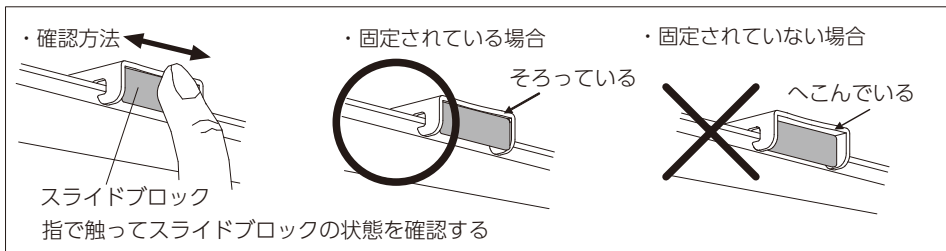


取付けブラケットのスライドブロックを押し、へこんだ状態にします。



- ①ハンガーレールを両手で持ち、取付けブラケットの手前(室内側)のツメにハンガーレールを引っ掛けてください。
- ②ツメに引っ掛けた状態で、左右のバランスを見て位置を決めてください。
- ③ハンガーレールを矢印の方向に、「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

### ④すべての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。



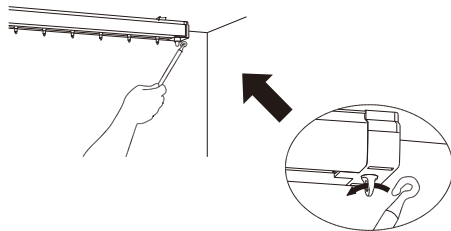
## ⚠ 注意

ハンガーレールが確実に固定されているか確認してください。  
確実に固定されていないと、製品が落下し思わぬ事故をまねく恐れがあります。

## 製品の取付けかた

### 4) バトン(チルトポール)の取付け

操作部についているリングに  
バトン(チルトポール)のフックを  
引っ掛けてください。  
両バトンの場合は左右両側のリングに  
引っ掛けます。



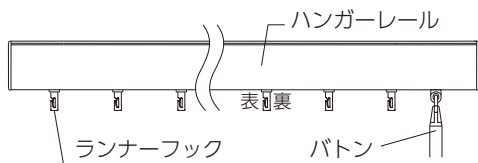
### 5) 生地(生地)の吊り込み

①ランナーフックの向きを揃えてください。

製品を全閉状態(ランナーフックが広がった状態)にし、ランナーフックの向きが揃っていることを確認してください。

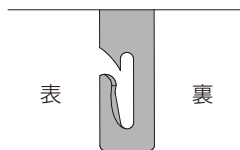
- ・ランナーフックには表裏があります。
- ・ランナーフックを回転させ下図の向きに合わせてください。

※製品の閉めかた、ランナーフックの揃えかたは16ページ～「操作のしかた」に従ってください。



全閉状態(ランナーフックが広がった状態)

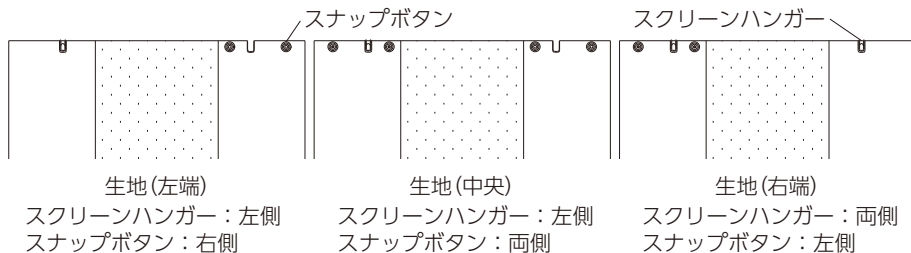
\* 図はバトン操作(片バトン)



ランナーフックを回転  
させ向きを揃える

②生地(生地)の確認をしてください。

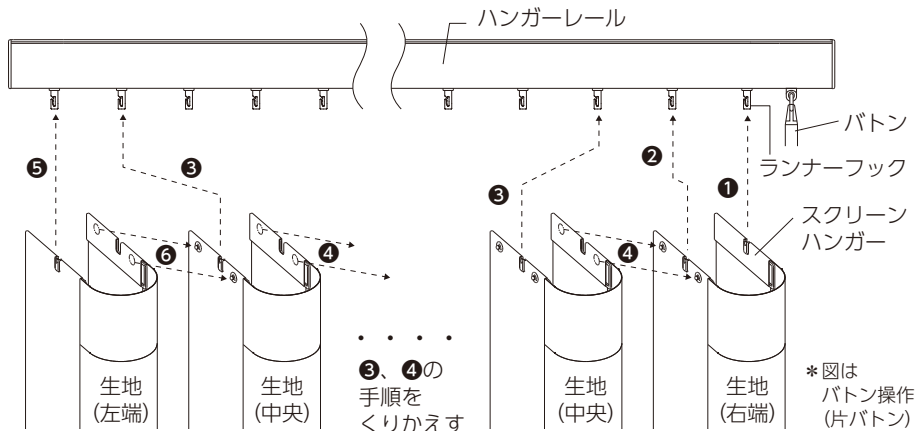
生地は上部の仕様によって「生地(右端)」「生地(中央)」「生地(左端)」の3種類があります。  
「生地(右端)」と「生地(左端)」に目印のシールを貼り付けてあります。



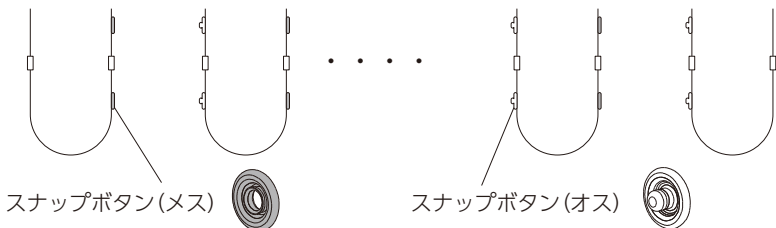
## 製品の取付けた

③生地を吊り込んでいきます。

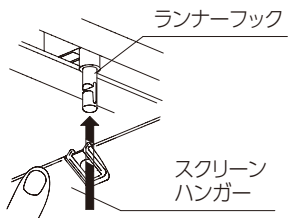
生地はハンガーレール右側から順に吊り込んでいきます。



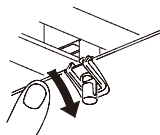
《見下げ図》



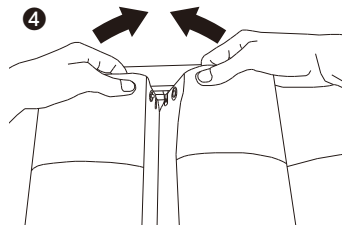
- ①生地(右端)の右のスクリーンハンガーを1番右のランナーフックに吊り込みます。
- ②生地(右端)の左のスクリーンハンガーを右から2番目のランナーフックに吊り込みます。
- ③生地(中央)のスクリーンハンガーを右から3番目のランナーフックに吊り込みます。
- ④生地をスナップボタンで連結します。スクリーンハンガーの2つのスナップボタンを確実にとめてください。
- ⑤生地(左端)の左のスクリーンハンガーを1番左のランナーフックに吊り込みます。
- ⑥生地(左端)をスナップボタンで連結します。



スクリーンハンガーを下からランナーフックへ通す



スクリーンハンガーをランナーフックに引っ掛ける



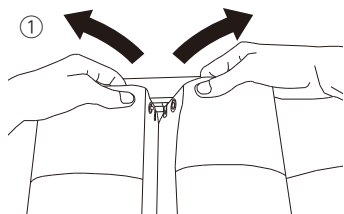
ボタン2カ所を確実にとめる

## 製品の取外しかた

### 1) 生地を取外し

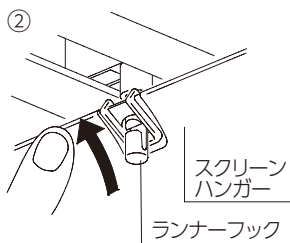
生地を取り外す際は、左右どちらから外しても問題ありません。

- ① 生地の間接部を広げスナップボタンを外します。
- ② ランナーフックからスクリーンハンガーを抜き取ります。

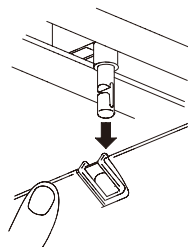


ボタン2カ所を取外す(※)

※生地に負荷がかからないようにスクリーンハンガー部を持ってゆっくりと取外してください。



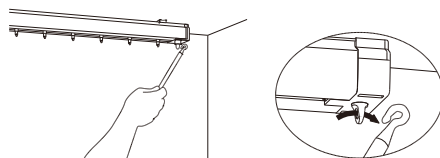
スクリーンハンガーを傾げ  
上にあげる



スクリーンハンガーを  
下へ抜く

### 2) バトン(チルトポール)の取外し

操作部についているリングから  
バトン(チルトポール)を外してください。



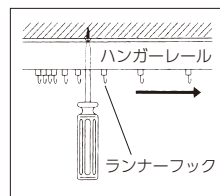
### 3) ハンガーレールの取外し

ハンガーレールの取外しは、すべての生地を取外した後に行ってください。

#### ●天井付け(直付け)の場合

ハンガーレールが落下しないように、製品を手で支えた状態で取付けねじを緩めてハンガーレールを取外します。

※ねじ穴がランナーフックの位置と重なっている場合はランナーフックを移動させてから取外してください。



### ⚠ 注意

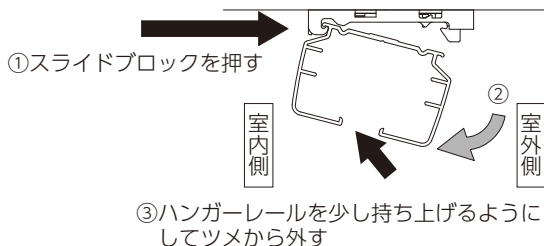
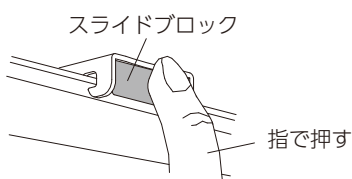
危険防止のため、ハンガーレールが落下しないように手で支えながら作業してください。



## 製品の取外しかた

- 天井付け(ブラケット付け)の場合
- 正面付け(ブラケット付け)の場合

- ①ハンガーレールを手で支えた状態で取付けブラケットのスライドブロックを押し(※)、
- ②ハンガーレールを矢印の方向に引き、
- ③取付けブラケットのツメからハンガーレールを少し持ち上げるようにして取外してください。

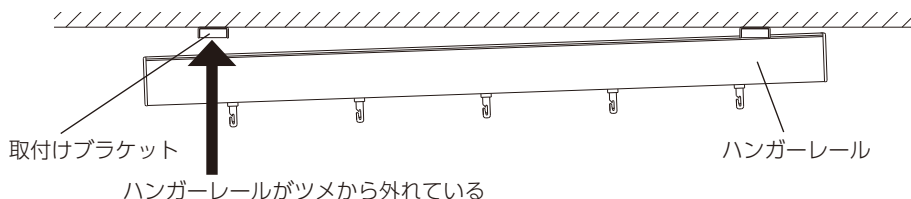


### ⚠ 注意

ハンガーレールが落下しないように手で支えながらスライドブロックを押してください。

※ハンガーレールを取付けブラケットのツメから外す作業は、すべてのスライドブロックを押してから行ってください。

下図のように一カ所でもツメから外れてしまうと、ハンガーレールを水平な状態に保ちにくくなり、残りのブラケットからハンガーレールを取外せなくなることがあります。



## 操作のしかた

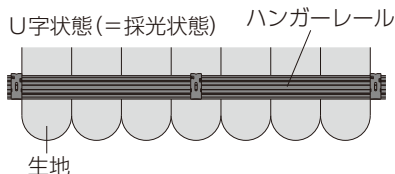
### 1) 生地 of 角度調整と製品の開閉について

操作方法はバトン操作、バトン・コード操作、コード操作の3つの種類があります。

#### バトン操作／バトン・コード操作／コード操作 共通の注意事項

##### ⚠ 注意

- ・操作する前に、生地 of 動く範囲に障害物がないことを確認してください。
- ・生地 of 誘導は、生地をハンガーレールに対して U 字状態 (= 採光状態) にしてから操作してください。  
遮蔽状態で誘導すると生地が引っ掛かったり、生地をいためる原因となります。
- ・操作は必ずバトン・チルトポール・ドライブコードで行ってください。  
直接生地を手で引っ張ると故障の原因となります。
- ・バトン・チルトポールを左右、斜めの状態から回転させたり、強く下に引っ張るとフックのねじれ、変形、破損により故障の原因となります。
- ・生地が全開・全閉した状態から無理にバトンやドライブコードを引かないでください。  
故障の原因となります。
- ・生地が遮蔽された状態から無理にバトン・チルトポールを回しつづけると故障の原因となります。
- ・バトン操作／バトン・コードの場合  
両バトン操作の時、反対側のバトンがエンド部から外れる場合があります。その場合は、反対側のバトンをエンド部に戻してください。



#### バトン・コード操作の注意事項

##### ⚠ 注意

- ・コードウェイトは外さないでください。コードウェイトをドライブコードから外して使用すると、バトンで製品の開閉をした際にドライブコードが持ち上がり、絡まる等の動作不良の原因となります。
- ・コードウェイトにドライブコードを束ねた状態でバトンで製品の開閉操作をしないでください。コードウェイトがハンガーレールまで持ち上がり、束ねたドライブコードがほどけたり、動作不良、部品破損の原因となります。
- ・バトンとドライブコードを同時に操作したり、ドライブコードの両側を同時に引かないでください。  
製品の破損や落下の原因となり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

#### コード操作の注意事項

##### ⚠ 注意

- ・チルトポールとドライブコードを同時に操作したり、ドライブコードの両側を同時に引かないでください。製品の破損や落下の原因となり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

## 操作のしかた

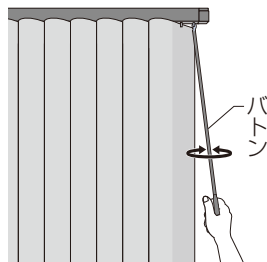
### ■バトン操作

角度調整・開閉をバトンで操作します。

#### ●生地角度調整(調光)

- ・バトンを回すと生地が回転し調光ができます。
- ・すべての生地は同時に回転します。

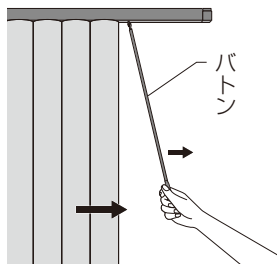
何らかの要因で生地角度に不揃いが生じた場合は、バトンで生地を回転させ、いったんすべての生地を全閉状態にしてから再び角度調整をすると揃います。



#### ●製品の開閉

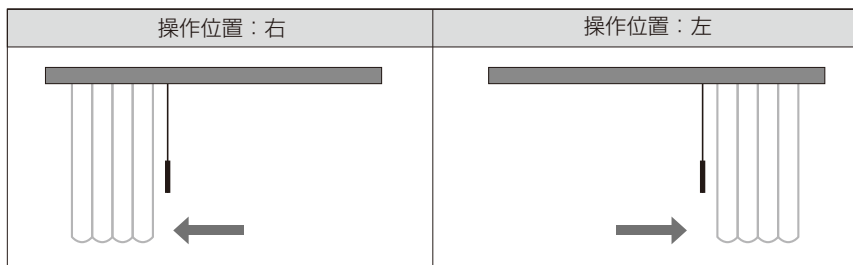
バトンを左右に引くと、バトンの動きにともなって生地が移動し、生地をたたみ込んだり広げたりすることができます。

操作はゆっくりと行ってください。  
バトンをはやく引くと、生地が勢いよく移動し、生地がバラつき、たたみ込みがきれいにできなくなります。

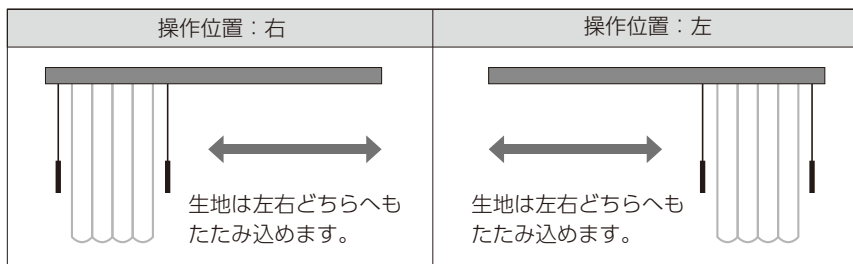


#### ●納まりかた

##### 片バトン



##### 両バトン



## 操作のしかた

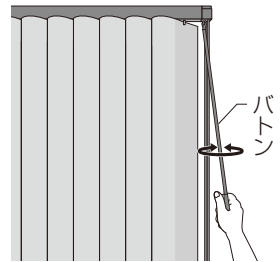
### ■ボタン・コード操作

角度調整はボタンで操作します。開閉はボタンとドライブコードで操作します。

#### ●生地角度調整(調光)

- ・ボタンを回すと生地が回転し調光ができます。
- ・すべての生地は同時に回転します。
- ・両バトンの場合は左右どちらのボタンからでも操作できます。

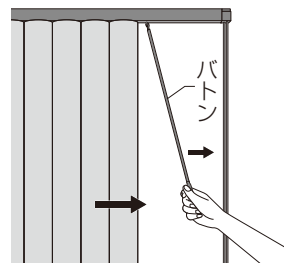
何らかの要因で生地角度に不揃いが生じた場合は、ボタンで生地を回転させ、いったんすべての生地を全閉状態にしてから再び角度調整をすると揃います。



#### ●製品の開閉

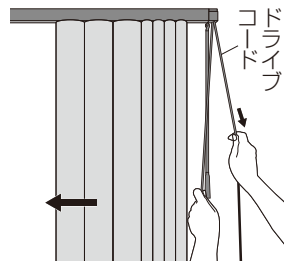
(ボタンで行う場合)

- ・ボタンを左右に引くと、バトンの動きにともなって生地が移動し、生地をたたみ込んだり、広げたりすることができます。
- ・両ボタン操作の場合、左右両側からの開閉と左右両側へのたたみ込みが可能です。



(ドライブコードで行う場合)

- ・ドライブコードの手前側を下に引くと生地が広がります。奥側に引くと生地がたたみ込まれます。
- ・生地はドライブコード側にたたみ込まれます。

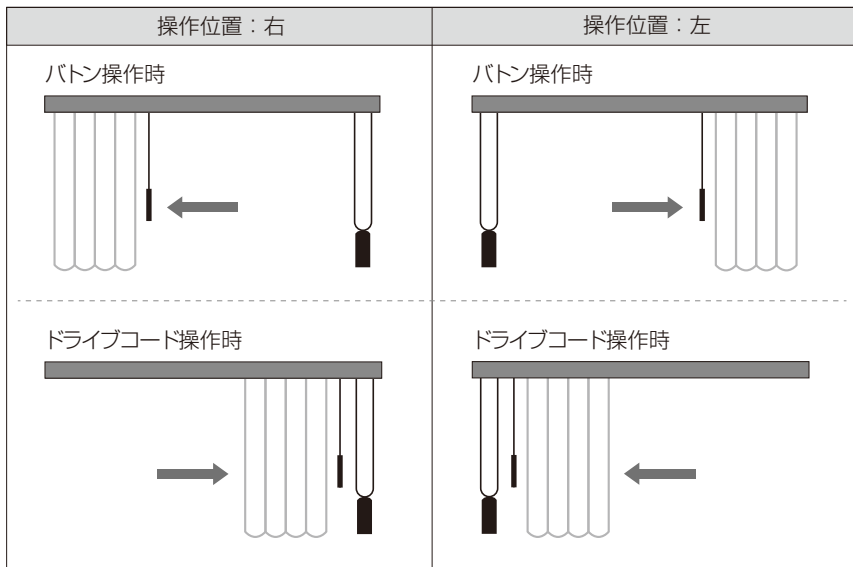


どちらの場合でも、操作はゆっくりと行ってください。ボタンやドライブコードをはやく引くと、生地が勢いよく移動し、生地がバラつき、たたみ込みがきれいにできなくなります。

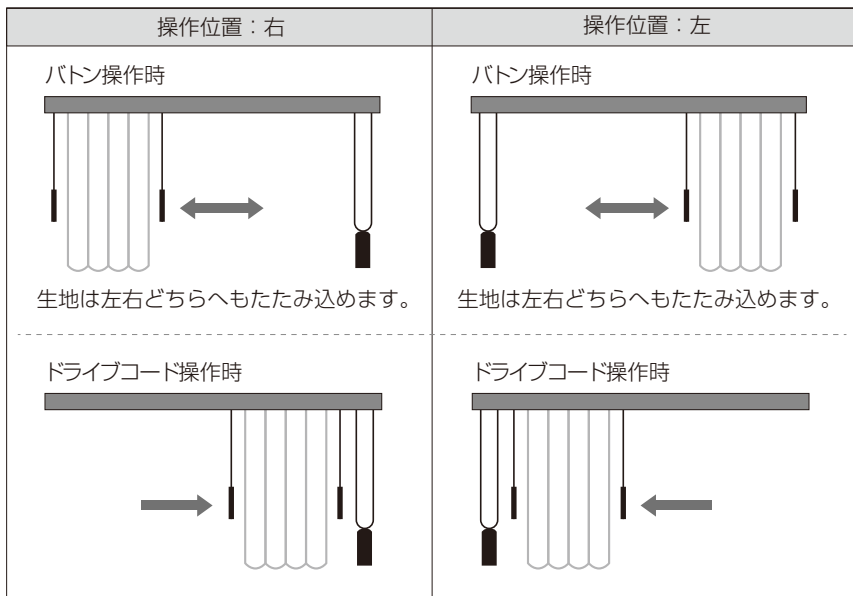
# 操作のしかた

## ●納まりかた

### 片ボタン



### 両ボタン



## 操作のしかた

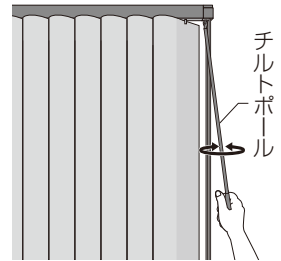
### ■コード操作

角度調整はチルトポールで操作します。開閉はドライブコードで操作します。

#### ●生地角度調整(調光)

- ・チルトポールを回すと生地が回転し調光ができます。
- ・すべての生地は同時に回転します。

何らかの要因で生地角度に不揃いが生じた場合は、チルトポールで生地を回転させ、いったんすべての生地を全閉状態にしてから再び角度調整をすると揃います。

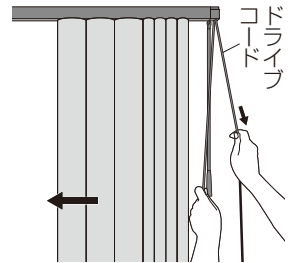


#### ●製品の開閉

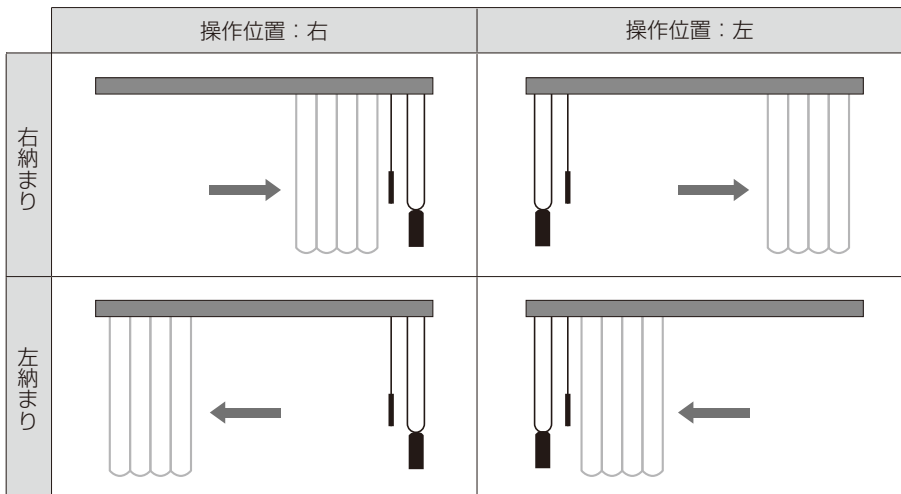
- ・ドライブコードの手前側を下に引くと、生地が広がります。
- ・奥側を下に引くと、生地がたたみ込まれます。

操作はゆっくりと行ってください。

ドライブコードをはやく引くと、生地が勢いよく移動し、生地がバラつき、たたみ込みがきれいにできなくなります。

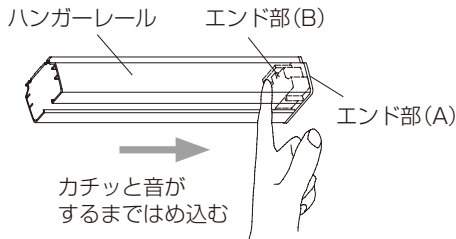


#### ●納まりかた



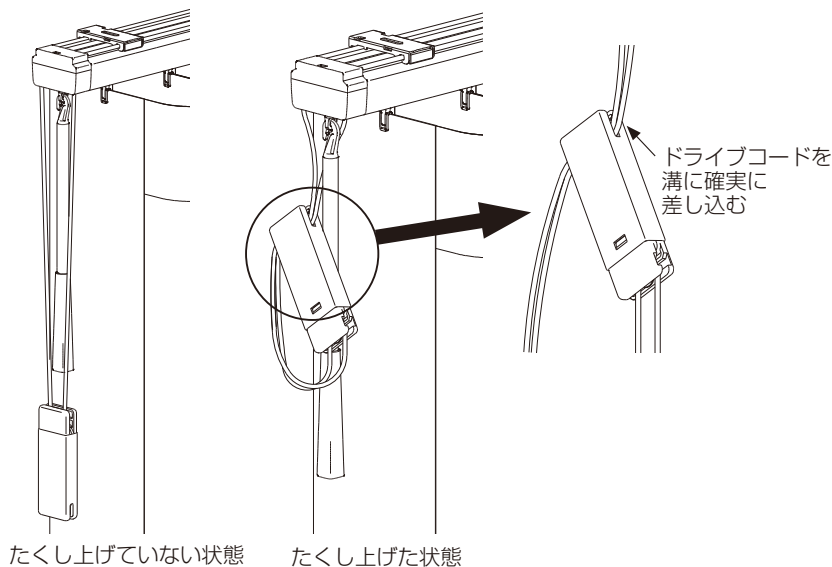
### 2) エンド部について【ボタン・コード操作／コード操作の場合のみ】

- ・ハンガーレール内には、ドライブコードに通常操作以上の負荷がかかった場合に、エンド部が2つに分解され、ドライブコードが緩む仕組みの装置が組み込まれています。
- ・エンド部が2つに分解された場合は、エンド部(B)をエンド部(A)に向かってすべらし、「カチッ」と音がするまで確実にはめ込むことで、再び使用することができます。



### 3) コードウェイトの使いかた【ボタン・コード操作／コード操作の場合のみ】

- ・操作をしないときは、ドライブコードをコードウェイトでお子さまの手の届かない高さまでたくし上げてください。
- ・たくし上げた際は、ドライブコードがコードウェイトに確実に差し込まれていることをご確認ください。



#### ⚠ 注意

「コードウェイトの使いかた」の通りにご使用ください。  
ご使用にならない場合、ドライブコードがお子さまの首に巻きついたり、引っかかり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

## 生地について

---

- ・遮光生地のドレープ部は2枚重ねで遮光性があります。  
ただし、製品の構造、生地の特性上生地間のすき間からの光漏れや、製品両端部の生地では光の透過が生じ、室内での光を完全に防ぐことはできません。
- ・生地の特性上、生地のねじれや反り等の影響により、生地間にすき間や前後方向のズレが生じたり、U字状態の生地のウェーブが均一に揃わない場合があります。
- ・生地の特性上、製品下端部は完全に閉じることができないため、完全に光漏れを防ぐことはできません。生地が完全に閉じ切っていない場合でもボタン(チルトポール)を無理に回し続けしないでください。製品の破損や動作不良となる恐れがあります。
- ・生地のシワが気になる場合は、あて布を使用し低温(110℃まで)でアイロンをかけてください。



## お手入れのしかた

日頃のお手入れは、生地を取付けたままで簡単にできます。

小型ホウキやハンディモップなどで、生地やドライブコードなどのホコリを取り払ってください。

## 生地の洗濯のしかた

ウォッシュブル生地には、生地の上部裏面に洗濯表示ラベルが縫い付けてあります。  
(製品の端にくる1枚のみ)

必ず洗濯前に洗濯表示ラベルを確認してください。

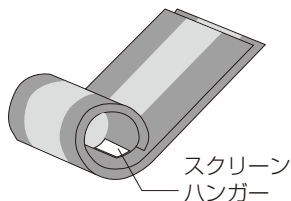
- ※生地の一部が汚れた場合は、洗濯の前に汚れた部分を軽くたたき洗いでから生地全体を洗濯してください。全体を洗濯しないと部分的にシミになることがあります。
- ※他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
- ※漂白剤などの塩素系洗剤の使用は避けてください。
- ※乾燥機の使用は避けてください。
- ※ドライクリーニング処理はできません。
- ※ウェットクリーニング処理はできません。

### 1) 生地の取外し

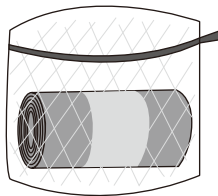
ハンガーレールから生地を取外します。(取外しかたは14ページをご覧ください)

### 2) 生地の洗濯

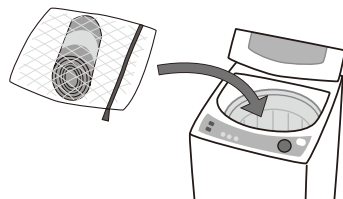
- ①生地を4枚程度重ねて、スクリーンハンガーを中心に巻き、巻がほどけないように洗濯ネットに入れます。
- ②洗濯機に入れて弱水流で洗濯してください。もしくは手洗いにて洗濯してください。
- ③脱水はせず、水が滴らないようにタオル等で水気をとってください。
- ④洗濯後は生地にシワがよらないように、製品に生地を吊り込み自然乾燥してください。シワが気になる場合は、低温(110℃まで)であて布を使用し、アイロンをかけてください。



生地を重ねてスクリーンハンガーを中心に巻く



ネットに入れる



洗濯機に入れて、弱水流で洗濯する

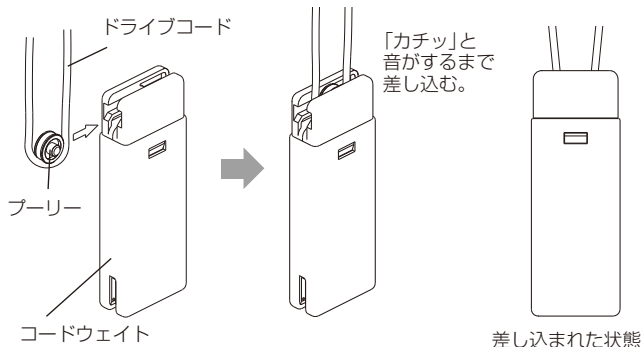
※スクリーンハンガーは生地から取外さない

### 3) 生地の吊り込み

生地をハンガーレールに吊り込んでください。  
(吊り込みかたは12ページ~をご覧ください)

## トラブルシューティング

	現象	対処方法
生地	取付け直後、生地同士が静電気でくっついてしまう	水で濡らし固く絞った布でやさしく生地を拭きとってください、しばらくするとはずれてきます。
	生地が汚れた	取外して生地の洗濯が可能です。 (洗濯のしかたは23ページをご覧ください)
	生地のシワが気になる	あて布を使用し低温(110℃まで)でアイロンをかけてください。
	生地の端部がほつれた	ほつれた端部をハサミで切り取ってください。
	生地が落ちた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スナップボタンが外れている。 →スナップボタンを付け直してください。</li> <li>・スクリーンハンガーが破損している、ランナーフックが抜けている、または折れている可能性があります。 部品の交換が必要です。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。</li> </ul>
機構部	開閉操作ができない	ランナーもしくは操作部に異常が生じている可能性があります。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	ドライブコードが垂れ下がっている	ドライブコードが床につく状態で垂れ下がっている場合は、エンド部が外れた場合があります。P21「エンド部について」を参照し、エンド部を付け直してください。
	角度調整ができない	ランナーもしくは操作部に異常が生じている可能性があります。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	生地の角度が不揃いになっている	いったん生地を全閉状態にしてから、再び角度を調整してください。
	ドライブコードが切れた	ドライブコードの交換が必要です。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	コードウェイトがドライブコードから外れた	ドライブコードとプーリーを合わせた状態にして、コードウェイトの側面から「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



## トラブルシューティング

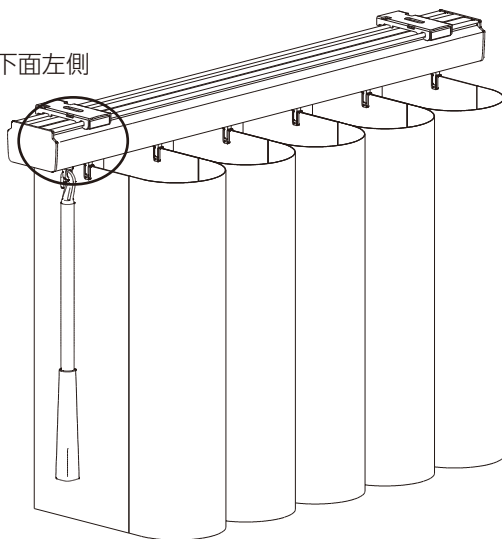
	現象	対処方法
製品の処分	製品を処分したい	お住いの地域によって処分のしかたが異なります。 ご不明な点は、お住いの自治体にご確認頂くなどして、処分してください。

## メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼り付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

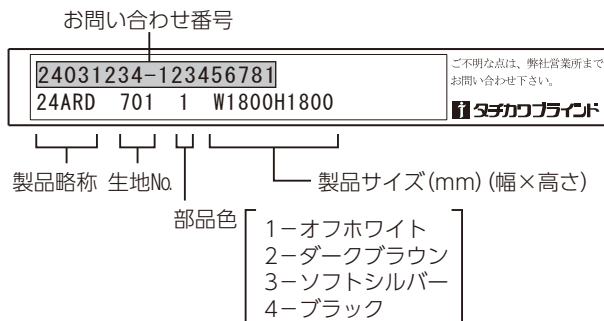
### ■メンテナンスシール貼付場所

製品正面から見てハンガーレール下面左側



### ■メンテナンスシール記載内容

お問い合わせの場合は網掛け部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



## 保証とアフターサービス

**無償修理規定** ※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引き渡し日より3年間は無償にて修理をさせていただきます(生地部は対象外)。但し、「コード類」につきましては、無償修理期間を商品の引き渡し日より1年間とさせていただきます。外観不良につきましては、商品の引き渡し後7日以内にお申し出ください。

次のような場合、無償修理期間内でも有償修理となります。

- ・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・機能喪失を伴わない意匠劣化。(さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど)
- ・天然素材の特性による現象。(例 木部の反り、干割れ、色褪せ、木目使い、節抜けなど)
- ・建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- ・天変地異(火災、地震、水害、落雷等)による故障および損傷。
- ・特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等)による損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。  
転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明な時は、弊社支店にお問い合わせください。

〈お客様相談室〉0120-937-958

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土日・祝祭日、夏季休暇、年末年始等のぞく)

# 立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL.03-5484-6100(大代表)  
ホームページ：<https://www.blind.co.jp/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



2024.02  
949491